

第1章 序論

- 西洋医学(生物医学)一疾病一治療
- 生化学的な機能不全に対する局所的な効果

- 非西洋医学(土着医療)一病い一癒し
- 文化的な本人にとっての機能不全
一全身的・精神的な回復

第2章 治療法の形態

- 第2・3章では体液システムについて取り上げている
- ヒポクラテス(医学の父／古代ギリシャ医学)
- 4体液説・・・血液、粘液、黒胆汁、黄胆汁
季節による増減
熱/冷、乾/湿
→これらバランスにより健康が決定

第2章 治療法の形態

- 外来の治療法をどのように受け入れるか
 - ▼イデオロギー、信念をもとに
 - ▼社会経済的要因
 - ▼合理的に受け入れる

メルパ族と私たちにとっての 輸血

メルパ族の2体液論

血

- 月経や加齢で失われる？
- 赤い果物、赤い茎などを摂取して補充

脂

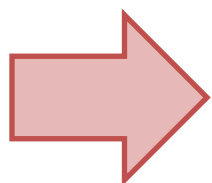
母乳、精液、脂肪、
栄養素など

- 性交、授乳、妊娠で失われる
- 豚の脂身、水分の多い野菜などで補充

メルパ族の輸血エピソード

患者の娘によると...

- 脳卒中で倒れ、病院へ搬送
- 「血が全然流れていない」と言われ
- 親族の血液を輸血
- 止められたが、チョコレート(脂)を与えた



血、脂は

- 足りなくなったら補わなければならない
- バランスを保たなければならない

瀉血、輸血

メルパ族にとって

瀉血：有害な血液の除去

定期的に瀉血

食物の摂取によって補充
赤い果実、赤い茎

現代医療では

瀉血：沈着した鉄の除去
過剰な赤血球や鉄の除去

定期的な瀉血は、まれ

輸血（赤血球、血小板、
血漿、アルブミン、全血）

➡ 「不要な分は取り除く」「不足する分は補う」

血

メルパ族にとって

生命の維持に必要

絶対量が決まっている

有害な血液の存在

枯渇⇒老い、死

親族、母系の象徴

個人の性質とは無関係

現代医療では

生命の維持に必要

体重のおよそ1/13

貧血、高脂血症、血液腫瘍

出血性ショック

遺伝

血液型占いは非科学的？